

大津町消防団員募集

「地域を守りたい」
その思いで集う、まちの勇士たち

●問い合わせ

役場防災交通課 防災消防係 ☎096(285)5006

消防団員は、火災や災害発生時に、「地域を守りたい」という思いで、
消火活動、人命救助、避難誘導など、住民の生命財産を守るために日々活動している「非常勤特別職の公務員」です。

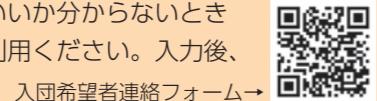
熊本地震では多くの消防団員が活動し、災害対応・避難支援などを行った「消防団の力」を發揮しました。

しかしながら、消防団員数は、全国的にも減少しており、大津町消防団も、総員520人(令和8年1月1日現在)となっており、年々減少しています。そのため、町では昨年4月1日より機能別消防団員制度として、支援団員を発足しました。

これからも、大津町消防団は新たな消防団員の力を求めていきます。「自らの地域は自らで守る」ために、「安心できる将来の大津町をつくる」ために、ぜひ、あなたの力を消防団に貸してください。

また、消防団員は男性だけでなく女性も活躍でき、女性消防団員も募集しています。

消防団に入りたいが、どうしたらいいか分からぬときは、「入団希望者連絡フォーム」をご利用ください。入力後、役場からご連絡します。



消防団長からのメッセージ



大津町消防団
松田 健太郎 団長

従来の操法大会を廃止し、より現場に即した「実践操法」へ

地域の皆さんのが日頃から防災を自分ごととして考え、有事の際には迅速に命を守る行動が取れるよう、消防団では啓発活動や広報活動に取り組んでいます。

消防団の活動は、火災現場だけでなく、行方不明者の捜索、大雨や地震時の巡回・避難支援、台風通過後の被害確認や倒木の除去など多岐にわたります。これらは「地域のことは地域で守る」という地元愛の精神に支えられた活動です。

また、これまで大きな柱として実施してきた操法大会は、技術力と団結力の向上に大きな役割を果たしてきましたが、近年の環境変化や現場活動の実情を踏まえ、本年より従来の操法大会を廃止し、実際の火災現場を想定した、より実践的な「実践操法大会」を実施します。

今後も、時代や地域の実情に応じて消防団活動の在り方を見直しながら、地域の安心と安全を守るために取り組みを続けていきますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

令和8年大津町消防出初め式 新年に防火の誓い

令和8年大津町消防出初め式を1月18日、町運動公園で開催しました。

式では、金田町長の式辞、松田団長の訓示に続き、消防団員の日頃の訓練の成果を披露して競う「通常点検」と「機械器具点検」を実施しました。点検の結果、第3分団が見事優勝しました。そして、「分列行進」では、消防団員と町内の保育園・幼稚園の幼年消防クラブが気迫のこもった行進を披露し、幼年消防クラブの皆さんが元気に「防火の誓い」を行いました。その後、スーパーローカルヒーロー「グランパワーヒノクニ」も応援に駆けつけ、園児や消防団員を激励しました。また、消防団による、より現場活動に近い「実践操法の放水披露」や子どもたち向けの「放水体験」、初の試みとして大津警察署より「警察車両の展示」も行われました。式後半は、消防団員の功績をたたえる表彰状授与を行いました。



①団員整列
②分列行進
③実践操法の披露
④グランパワーヒノクニの登場で盛り上がる会場

令和8年 大津町消防出初め式

受賞者 (敬称略)

熊本県知事表彰

永年勤続功労章
古庄 裕生

大津町長表彰

退職消防団幹部感謝状
今村 裕和

自治功労表彰

第2分団 齊藤 智博
第3分団 大竹 博
第5分団 西本 博
第6分団 只野 正和
第8分団 安永 和史

熊本県消防協会長表彰

功績章(在勤20年以上)
副団長 古庄 裕生
第1分団 田中 啓介
第2分団 管野 民男
第3分団 坂本 尚史
第5分団 上藤 剛志
第6分団 松岡 大久保
第7分団 宇野 高木
第8分団 田呂丸 竹隈

勤績章(在勤15年以上)

第2分団 亀井 雅史
合志 祐司
第3分団 坂井 優也
第4分団 森 利洋
第5分団 田口 健一
第6分団 西村 博樹
第7分団 大村 詠一
第8分団 柴藤 久希
岩下 祐太郎

消防庁長官表彰

勤続25年以上退職消防団員(銀杯)
大田黒 昭憲
今村 裕和

勤続15年以上退職消防団員(銀杯)
倉原 たくみ
村上 誠郎

